



令和7年度新規採択希望

土地改良事業計画書

水利施設等保全高度化事業 水利施設整備事業(簡易整備型)

地区名 菱川地区

所在地 伊勢市

事業主体 三重県

土 地 改 良 事 業 計 画 書

第1章	目 的	1	第5章	主 要 工 事 計 画	34
第2章	地 域 及 び 地 積	〃	第1節	用 水 施 設	〃
第1節	地 域	〃	第2節	排 水 施 設	36
第2節	地 積	〃	第3節	道 路 及 び 索 道	38
第3章	現 況	2	第4節	農 用 地 造 成	39
第1節	気 象 及 び 海 象	〃	第5節	洪 水 調 節 施 設	41
第2節	土 地 状 況	3	第6節	干 拓 施 設	42
第3節	水 利 状 況	5	第7節	農 用 地 整 備 施 設	43
第4節	道 路 概 況	9	第8節	老 朽 ため 池 改 修 施 設	46
第5節	地 域 農 業 の 概 況	10	第6章	附 帯 工 事 計 画	47
第6節	地 域 環 境 の 概 況	12	第7章	工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期	〃
第4章	一 般 計 画	13	第8章	環 境 と の 調 和 へ の 配 慮	48
第1節	事 業 計 画 の 要 旨	〃	第9章	換 地 計 画 の 概 要	49
第2節	営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	〃	第1節	換 地 計 画 を 作 成 す る 上 で の 基 本 的 な 考 え 方	〃
第3節	用 水 計 画	17	第2節	換 地 区 の 設 定	〃
第4節	排 水 計 画	21	第3節	換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針	〃
第5節	道 路 計 画	24	第4節	土 地 の 評 価 及 び 精 算 の 方 法	52
第6節	農 用 地 造 成 計 画	25	第5節	換 地 計 画 樹 立 の 年 度 計 画	〃
第7節	洪 水 調 節 計 画	27	第6節	換 地 処 分 の 時 期 に 関 す る 特 別	〃
第8節	干 拓 計 画	28	第7節	換 地 事 務 処 理 体 制	52-1
第9節	農 用 地 整 備 計 画	29	第10章	事 業 費 の 総 額 及 び 内 訳	53
第10節	老 朽 ため 池 改 修 計 画	33	第11章	効 用	54
			第12章	関 連 す る 事 業	55
			第13章	現 況 ・ 計 画 平 図 面	〃
			第14章	予 定 管 理 方 法	56
			第15章	事 業 費 の 負 担 区 分 の 予 定 及 び 地 元 負 担 の 予 定 基 準	57

当計画地区は、伊勢市北部の平野地域で宮川の左岸側に位置しており、菱川は、汁谷川の支流である。汁谷川は、宮川に合流して伊勢湾へ注いでいる。
 当地区の造成事業は、昭和27年～昭和42年県営かんがい排水事業で建設された施設であるが、菱川排水路は、構造が杭柵工であることから建設当時より約56年が経過し老朽化が著しく、施設管理に多大な労力と費用が必要となってきた。
 当事業は、基幹的な農業水利施設のうち、老朽化が著しく更新が必要な施設について、機能診断結果より施設の長寿命化を図ることにより施設の有効利用を図られ、営農経費の節減と安定的な排水を行うことを目的とする。
 対象施設は、供用開始以来、適正な維持管理により施設の機能保全に努めてきたが、経過年数及び周辺環境にの変化などから施設自体に支障を来して対策工事が必要となってきた。耐用年数を経過した施設でもあり、早急な対策が必要である。

第 2 章 地域及び地積
 第 1 節 地 域

(第 1 表)

事業名	地 域	備 考
基幹水利施設ストックマネジメント事業	伊 勢 市 玉 城 町 外 一 ヶ 町 村	
	市 町 外 ヶ 町 村	
	市 町 外 ヶ 町 村	

注) 「事業名」欄は二以上の土地改良事業を併せて行う土地改良事業の場合 (以下各表とも同じ)

第 2 節 地 積

(H 年 月現在) (第 2 表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
基幹水利施設 ストックマネジメント事業	伊勢市	68.5	9.0	-	-	-	77.5	
	玉城町	71.0	16.6	-	-	-	87.6	
合 計		139.5	25.6	-	-	-	165.1	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む) なお換地計画を伴う事業は実測(図上)単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入
 団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入
 2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象 該当なし

(第 3 表 - 1)

観測所名	かんがい期		非かんがい期		計 又は平均	備 考	
観測期間	年～年	月～月	月～月	月～月			
平均気温 (°C)							
降水量	平均 (mm)						
	基準年 (mm)					用水計画基準年	年
降水日数	平均 (日)						
	基準年 (日)						
根雪期間		月 日～月 日		日間			
無霜期間		月 日～月 日		日間			
最多風向			最大風速 (風向)		m/s	最多風向 発生時期 発生年月日	月～月 年 月 日

2. 特殊気象 該当なし

(第 3 表 - 2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数量	年月日	発生率													
観測期間 年～年																
最大日雨量 (mm)																
最大時間雨量 (mm)																
最大4時間雨量 (mm)																
最大連続雨量 (mm)																
最大連続干天日数 (日)																

3. 海 象 該当なし

(第 3 表 - 3)

観測所名	観測期間	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
実測値	年～年	(年月日)							

注)「海象」は海に排水する計画の場合。

2 土地分類 該当なし

(第 4 表 2 - 1)

市町村名	級地別 一級地	農 用 地 (ha)				造 成 地 (ha)				計 (ha)	備 考
		傾斜外	3 ~ 8	8 ~ 12	12 ~ 15	傾斜外	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30		
計											

(第 4 表 2 - 2)

市町村名	級地別 一級地	干 拓 (ha)				計	備 考
		二級地	三級地	四級地			
計							

3 土地利用の状況 該当なし

(年 月 現在) (第 4 表 - 3)

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地							山 林		採草 放牧地	非農 用地	その他	計	備 考	
		水田	普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	茶園	その他の樹園地	用材林	薪炭林						
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)							
合計																

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、かんがい排水、ほ場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

4 土地所有の状況 該当なし

(第 4 表 - 4)

事業名 区分	所有別					所有別					所有別					合計	備 考
	個人有	部落有	県市町村有	国有	計	個人有	部落有	県市町村有	国有	計	個人有	部落有	県市町村有	国有	計		
面積 (ha)																	
受益者数 (人)																	
筆数 (筆)																	
権利関係																	
関係戸数																	

注) 「団体営事業」の土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第 3 節 水 利 状 況 該 当 な し

1. 用 水 状 況 該 当 な し

.....

(1) 用 水 系 統 該 当 な し

別紙「現況用水系統図」参照 注)系統は系統名、Aはかんがい面積、Qは用水量、()は用水慣行。

(2) 用 水 施 設 該 当 な し

(ア) 取 水 方 法 一 覧 表 該 当 な し

(第 5 表 - 1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		100ha以上		100ha～30ha		30ha未満		箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
基幹水利施設 ストックマネジメント 事業															水利権取得 一年-月-日
	計														
合 計															

注) 「施設名」欄は井堰、自然取入口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の()書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。

(イ) 改 修 を 要 す る 施 設 一 覧 表 該 当 な し

(第 5 表 - 2)

事業名	項目 施設名	箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)		構造	規模	新設又は 更 新 年 月 日	改修を必要とする理由	備考
			全体	関係分					
基幹水利施設 ストックマネジメント 事業									
	計								
合 計									

注) 「施設名」欄は井堰、自然取入口、貯水池、揚水機、用水路、その他に区分。「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位:m)。

現 況 用 水 系 統 図

該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況
該当なし

(第5表3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい面積 (ha)	現況 必要水量 (千m3)	不足水量				平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均 (m3/s)	基準年 (m3/s)	平均 (千m3)	基準年 (千m3)			
合計										

注) 団体営事業の場合の「不足水量」欄は基準年。「平均減産量」、「平均維持管理費」欄は記入の要なし。

(イ) その他の被害状況
該当なし

(第5表3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 ℃		水質 (PH)	被害量	備考
			最高	最低			

注) 水温、水質の不良等に基づく被害がある場合。

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況
該当なし

(第5表3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
合計											

注) 土砂崩壊は「土砂崩壊の場合の想定被害状況」

第 3 節 水 利 状 況

2. 排 水 状 況

施設の老朽化が進行し、経過年数により施設自体に支障来して、対策工事が必要となっている。

(1) 排 水 系 統

別紙「現況排水系統図」 参照 注) 系統は系統名、Aは排水面積、Qは排水量、() 排水慣行。

(2) 排 水 施 設

(ア) 排 水 方 法 一 覧 表

(第 5 表 - 4)

事 業 名	項目		排 水 面 積 (受 益 面 積)								排 水 慣 行	現 況 排 水 能 力 (m3/s)	備 考	
			100ha以上		100ha~30ha		30ha未満		計					
	区分	施 設 名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
基幹水利施設ストック マネジメント事業	自 然	菱川排水路	1	432.0	-	-	-	-	1	432.0	排 水 慣 行	24.849		
	機 械	排 水 機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計	計	1	432.0					1	432.0		24.849			

注) 1. 「区分」欄は自然・機械排水の区分、「施設名」欄は自然排水は排水路・水門に細区分、機械排水は排水機・水門及び排水機に細区分。〈(イ)表とも同じ。〉
 2. 「排水面積」欄の「排水路」は排水路のみの自然排水、「水門」は排水路と水門の併用自然排水、「排水機」は排水路と排水機による自然排水及び機械排水「水門及び排水機」は排水路、水門、排水機による自然排水及び機械排水。〈(イ)表とも同じ。〉

(イ) 改 修 を 要 す る 施 設 一 覧 表 該 当 な し

(第 5 表 - 5)

事 業 名	項目		施設名又は 箇所	受益面積	構 造	規 模	新設又は更新年	改修を必要とする理由	備 考	
	施設名									
基幹水利施設ストック マネジメント事業	自 然	菱川排水路	1	165.1	プレハブ水路(B)	B4.0~4.5m H0.9m	更 新	施 設 の 老 朽 化		
	機 械	排 水 機	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	
合 計	計	1	-	-	-	-	-	-		

注) 排水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

現 況 排 水 系 統 図

菱川排水路	
流域面積A	432.0ha
排水量 Q	24.849m ³ /s

→ 汗谷川

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考	
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量(t)		
									乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
計			平均															
計			基準年															
合計			平均															
合計			基準年															

注) 1. 団体営事業の場合の「降水量」、「湛水状況」欄は基準年。「平均減産量」、「平均維持管理費」欄は記入の要なし。
2. 「湛水状況」欄の() 数値は許容湛水位以上。

3. 河川状況

(1) 河川の状況 該当なし

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/s)	既往最大洪水量 (m3/s)	備考

注) 防災事業のうちダムのある場合。

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額						降雨名 : 起生年月日 : 年 月 日 ~ 月 日
平均被害額						算定期間 :

注) 農地保全是「土壌の浸食に関する被害状況」。

第 4 節 道 路 概 況

該当なし

1. 道 路 概 況 該当なし

別紙「道路配置模式図」 参照 注) 地区内及び地区外ともBは全幅 () は有効幅員 (0.1m単位)。

2. 主 要 道 路 一 覧 表 該当なし

(第 6 表)

NO.	路 線 名	管 理 区 分 別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	接 続 主 要 路 線 名	備 考
				全 幅	有 効				
合 計									

注) 1. 農道整備、農用地造成、干拓及び区画整理の場合 (主要構造物の表も同じ)。
 2. 「管理区分別」欄は、国道、県道、市町村道、農道の区分別。延長は地区内のみ延長。

主 要 構 造 物 該当なし

NO.	路 線 名	名 称	延 長 (m)	箇 所 数	規 模 ・ 構 造	改 修 の 要 否	備 考

注) 団対営事業の場合は主要な構造物 (橋梁、高架鉄道横断施設、トンネル) の改修の要否。

現況道路配置模式図

該当なし

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口 該当なし

(資料名： H 年 月 現在) (第 7 表 - 1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気熱供給 水道業	輸送業	卸売飲食 小売業	金融 保険業	不動産	サービス業	公務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)								
計																
比率 (%)																

注) 県営事業以上の場合。

2. 経営耕地別広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数 該当なし

(資料名： 年世界農林業センサス 年 月 現在) (第 7 表 - 2)

区分 市町村名 (旧町名村)	農家 総戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)										1戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専業別農家数(戸)		備考						
		0.3ha 未満	0.3~ 0.5	0.5~ 1.0	1.0~ 1.5	1.5~ 2.0	2.0~ 3.0	3.0~ 5.0	5.0~ 10.0	10.0~ 20.0	20.0ha 以上	例外 規程 の適 用を受 けるも の	田	畑	樹園 地	小計	草地	計	1戸当 団地 数	団地 当たり 面積 (ha)		専業	兼業				
計																											
比率 (%)																											

注) 団体営事業の場合旧町村単位

3. 動力農機具及び主要家畜頭数 該当なし

(資料名： 年世界農林業センサス 年 月現在) (第7表-3)

項目 市町村名 (旧町名村)	動力農機具								主要家畜								備考
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	豚 数量 (頭)	戸数 (戸)	乳用牛 数量 (頭)	戸数 (戸)	肉用牛 数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 ()	戸数 (戸)	
100戸当数量 (台・頭)																	
利用戸数割合 (%)																	

注) 団体営事業の場合旧村単位

4. 主要作物作付け状況 該当なし

(資料名： 年 月現在) (第7表-4)

市町村名		いなべ市				計		平均		備考
総耕地面積 (ha)										
総本地面積 (ha)										
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当収量 (kg/10a)	作付率 (%)
	田	表作								
裏作										
小計										
畑	春夏作									
	秋冬作									
	小計									
樹園地										
	小計									
その他										
計										
市町村別延作付率(%)										

注) 「作付面積」欄は最近年、「単位面積当収量」欄は5年平均。

5. 農 業 の 動 向 該 当 な し

(資 料 名 : _____ 年 月 現 在) (第 7 表 - 5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)		B	A (現在)		B	A (現在)		B	A (現在)		
変 化 の 状 況 指 数	総農家数			耕 地						乳用牛			乗 用 田 植 機			A:平成 年 () B:平成 年 () C:平成 年 ()	
	専 業 農 家 数			田						肉用牛			乗 用 ト ラ ク タ ー				
	第1種兼 業農家数			畑						豚			コ ン バ イ ン				
	第2種兼 業農家数			樹園地						採卵鶏							
	農 業 従 事 者 数			草 地													
変 化 の 理 由																	

注) 1. 変化状況は現在(調査計画時点)をA、最近時農業センサスをB、さらにその直前の農業センサスをCとする場合のC (100)に対するA及びBの数値の指数。
2. 団体営事業(不要である)の場合、旧町村単位。

第 6 節 地 域 環 境 の 概 況

該 当 な し

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事 業 計 画 の 要 旨

1. 要 旨

事業の要点 幹線水路;耐用年数の超過より老朽化が著しく機能低下のため全面打換え工法(改修)と表面被覆工法(補修)と目地補修及びびび割れ補修工による水路補修工
 上位関連事業との関連..... 該当なし

2. 事業別面積

(第 8 表)

事業名 土地利用区分	基幹水利施設ストックマネジメント事業												計 (ha)	備 考						
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)								
排水路工	139.5	25.6	-	-	-	165.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	165.1	
合 計	139.5	25.6	-	-	-	165.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	165.1	

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。
 2. 「事業名」欄はほ場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第 2 節 営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画

1. 営 農 計 画 の 概 要

経営方式 ----- 主穀中心
 経営組織 ----- 戸別経営
 作業体系 ----- 大型機械体系
 作付体系 ----- 水稻+麦・大豆

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	区分												
基幹水利施設 ストックマネジメント事業	現況	139.5	25.6	-	-	-	-	165.1	-	-	-	165.1	
	計画	139.5	25.6	-	-	-	-	165.1	-	-	-	165.1	
合計	現況	139.5	25.6	-	-	-	-	165.1	-	-	-	165.1	
	計画	139.5	25.6	-	-	-	-	165.1	-	-	-	165.1	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	区分 地目	1年目												2年目												3年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				ha																																				
基幹水利施設 ストックマネジメント事業	現況		水稻 152.2	○ — △ — ×××																																				1. 田畑比 2:1 輪換周期 3年 ○は種 △定植 ×収穫
			小麦 75.0	— ××× — ○ — ××× — ○ — ××× — ○ —																																				
			大豆 45.4	— — ○○ — ××× — ○○ — ××× — ○○ — ×××																																				
	計画		水稻 152.2	○ — △ — ×××																																				
			小麦 75.0	— ××× — ○ — ××× — ○ — ××× — ○ —																																				
			大豆 45.4	— — ○○ — ××× — ○○ — ××× — ○○ — ×××																																				

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収穫量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		効果要因	備考	
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収量増加			
基幹水利施設 ストックマネジメン ト事業	田	水稲	152.2	152.2	0.0	67	67	152	468	316	231	712	481	-	481	干害防止		
		小麦	75.0	75.0	0.0	33	33	166	166	0	125	125	0	-	0			
		大豆	45.4	45.4	0.0	20	20	81	87	6	37	39	2	-	2	畑かん		
	計		272.6	272.6	0.0	120	120				393	876	481		481			
合計			272.6 (227.2)	272.6 (227.2)	0.0 (0.0)	120 (100)	120 (100)				393	876	481		481			

注) 「作付面積の合計」欄の()は実面積、外は延作付面積。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	効果発生面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
基幹水利施設 ストックマネジメン ト事業	田	水稲	152.2	人力	0	47	△47	(事業なかりせば)
				機械	-	-	-	
	計							
合計								

注) 「作付名」欄は「4. 生産計画」に準ずる。(△は減を示す。)

6. 級地別土地利用区分 該当なし

(第9表 - 3)

土地利用区分	区分 級地名	農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計 (ha)	備 考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計		
農 地	田												
	輪換耕地												
	畑												
	(普通畑)												
	(牧草地)												
	樹園地												
	(果樹園)												
	(その他の樹園地)												
	その他												
計													

注) 農地造成、干拓の場合。

7. 土地配分計画 該当なし

区分	項目 配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備 考
		田	輪換耕地	畑						
				普通畑	樹園地					
増反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入植		()	()	()	()	()	()	()	()	

注) 干拓の場合。

第 3 節 用 水 計 画

1. 計 画 基 準 年 該 当 な し

(かんがい期間有効雨量 ; 年 mm)
 (かんがい期間干天日数 ; 年 日)
 河 川 渴 水 量 ; 年 m3/s/km2)

2. 計 画 かん がい 方 式 該 当 な し

かんがい期間 水 田 月 日 ~ 月 日 (代播期 月 日 ~ 月 日)
 畑 月 日 ~ 月 日 (輪換畑)
 かんがい方式 水 田
 畑

注) 畑地かんがい方式は畦間、散水、その他の区分。防除用水は定置式、スピードスプレーヤーの区分。

3. 計 画 用 水 系 統 該 当 な し

別紙「計画用水系統図」参照 注)系統は系統名、Aはかんがい面積、Qは用水量、()は用水慣行。

4. 計 画 用 水 量 該 当 な し

(1) かんがい用水 (種別)

(第 10 表 - 1 - 1)

項目 系統名	面 積			水田かんがい		水田畑利用			畑地かんがい			そ の 他			消費 水量	損失 率	粗 用 水 量		備 考	
	事 業 名		計	普通期 計画 平均 単位 用水量 (mm/日)	代播期 計画 単位 用水量 (mm/日)	面積	一日 当り計 画平均 かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積	一日 当り計 画平均 かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積	一日 当り計 画平均 かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)			面積	(m3/s)		(%)
	地区内 (ha)	地区外 (ha)													計 (ha)					
計																				計は地区全体の水量の最大値

注) 1. 計画平均単位用水量、計画代播単位用水量は系統別の減水深の荷重平均値、()は最大値。
 2. 計画平均かん水深は畑かん期間の1回当たりの平均かん水深を平均かん断日数で除した値。

計 画 用 水 系 統 図

該当なし

(2) 営農飲雑用水 該当なし

(第10表-1)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (/ 日)	最大給水量 (/ 日)			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画 該当なし

田面、畑面有効雨量 該当なし

河川、地区内反復水利用 該当なし

水路損失等 該当なし

(水源が貯水池の場合)

(第10表-2)

区分	項目	現況利用可能水量				不足水量		水源依存量		水源工種 (新規)	損失率 α (%)	備考
		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	純不足量	全不足量	水源名	水量			
		a (千m3)	b (千m3)	c=a-b (千m3)	d=c/1-a (千m3)	e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)			
事業名												
	計											

注) 1. 「区分」欄は農業用排水、区画整理、農用地造成等の分類。「細分」欄は水田補水、畑かん等に細分。
 2. 純用水量、田畑面利用可能量、純不足水量には損失を含まず、全不足水量には水路損失を含む。

(2) 用水対策

(ア) 貯水 池 該当なし

(第 10 表 - 3)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (ha)	かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
			事業名							
					計					
計										

注) 「利用貯水量」欄はかんがい期間内の貯水池通過水量に有効貯水量を加算したもの。

(イ) 井堰及び自然取水口 該当なし

(第 10 表 - 4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (Km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水比流量 (m3/s/km ²)	備考
			事業名			最大 (m3/s)	平均 (m3/s)		
					計				
計									

注) 1. 「取水施設名」欄は井堰、自然取入れの分類。備考欄はその型式。
 2. 「取水量の平均」欄は普通期の平均。「渇水量」欄は計画基準年。

(ウ) 揚 水 機 該当なし

(第 10 表 - 5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚 水 機				備 考
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		田	畑	計	(m ³ /s)	(m ³ /s)					
計											

注) 「所要水量の平均」欄は代掻き期以外の平均所要水量で、24時間に換算したもの。

(エ) 用 水 路

(第 10 表 - 6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構 造	備 考
	事業名						
	田	畑	計				
計							

注) 「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路等の分類。

(オ) その他の水源施設 該当なし

地下水 :

湧水 :

(3) 水温水質 (改良後の状況) 該当なし

.....

第 4 節 排 水 計 画

1. 計 画 基 準 雨 量 該 当 な し

日 雨 量 - mm (1/10年) - mm (1/20年)

3日連続雨量 - mm (1/10年) - mm (1/20年)

2. 計 画 排 水 方 式 該 当 な し

排水別	項目	計画雨量 (mm)		流出率 (%)	排水計算方式	計画内水位 (m)		計画外水位 (m)		備考
		雨量	確率			基準田面	許容湛水深	外水位	河川名	
基幹排水	自然排水		1/							
	機械排水		1/							
末端排水	水田・畑(樹園地)		1/			地下水排除計画				
	畑部(市街地)		1/							
	山地		1/							

3. 計 画 排 水 系 統 該 当 な し

別紙「計画排水系統図」参照……………注)系統は系統名、Aは排水面積、Qは排水量、()は排水慣行。

4. 計 画 排 水 量 該 当 な し

(第 11 表 - 1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考	
	事業名	計	計	山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地		
												自然排水	機械排水				
計																	

注) 「全排水量」欄は最大値、なお自然排水と機械排水併用あるいは切替る場合はそれぞれの最大値。

計 画 排 水 系 統 図

該当なし

(3) 排水路

(第 11 表 - 4)

項目 排水系統名	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画 排水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	排水本線			廃止、既設利用 改修、新設の別	備考
		事業名						計画洪水 量 (m ³ /s)	計画洪水 位 (m)			
				計								
計												

(4) その他 (砂防工事等の場合別添) 該当なし

6. 湛水検討 (事業名 ; -) 該当なし

項目	面積 (ha)		基 本 事 項							湛 水 状 況								
			基準雨量 (m ³ /s)				総合 流出率 (%)	最大 流出量 (m ³ /s)	計画 排水量 (m ³ /s)	水位 (m)	外水位	内水位	洪水到達時間 (hr)	田面標高 (m)	許容 湛水深 (m)	許容 湛水深 (m)	最大 湛水面積 (ha)	許容選水位 上湛水時間 (hr)
			第1日	第2日	第3日	確率												
現況	流域								最高			流域	最低					
	受益								計画			地区内	基準					
計画	流域								最高			流域	最低					
	受益								計画			地区内	基準					
									最低									

計 画 道 路 配 置 模 式 図

該当なし

第 6 節 農 用 地 造 成 計 画

1. 農用地造成計画 該当なし

(1) 農用地造成計画 該当なし

(第 13 表 - 1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
計					

注) 1. 「地目」欄は「事業別面積」(第8表)の地目に区分。「主要作物」欄は普通畑を牧草畑、そさい畑に区分。樹園地は樹種名。
 2. 「耕地の形態」欄は畑、樹園地についてのみ「改良山成畑」、「山成畑」等の別。

(2) 末端道水路配置図 該当なし

2. 土 壤 改 良 該 当 な し

(第 13 表 - 2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	PH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ha 当 たり 所 要 量			備 考
			H2O	KCL			石 灰 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	
計										

注) 「区分」欄は石灰のha当たり所要量のごとの区分。

第 7 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし
2日連続雨量 mm(/ 年)

2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第 14 表 - 1)

事業名	地 点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節 量(m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調 節 後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)	備考

3. 貯水池 該当なし

(第 14 表 - 2)

事業名	項 目 貯水池名	流域面積 (k m ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量 (千 m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備 考
		直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 日 的			

4. 洪水調節検討 該当なし

- (1) 河川改修計画との関係 ; 該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 ; 該当なし
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 ; 該当なし

5. 管理計画 該当なし

- (1) 管理機構 (管理主体、管理費負担区分、管理組織) ; 該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 (常時満水位、洪水時満水位、洪水期制限水位) ; 該当なし
- (3) 洪水調節要領 (放水施設の操作時期、予備放流要領、制限放流量、警報連絡方法等) ; 該当なし

第 8 節 干拓計画 該当なし

(第 15 表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理 該当なし

(1) 区画の形状 該当なし

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
合計					

(2) 表土扱い 該当なし

(第16表-2)

事業名	面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深さ (cm)	土量 (m3)	備考
合計					

注) 区画整備を行う面積すべてについての要否。

(3) 末端道水路配置図 (標準区画割図、農区単位) 該当なし

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水 該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)		事業名	計	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単 位 排水量 (日/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 の以下の 排水方法	備 考
合 計										

- 注) 1. 「区分」欄は種類、方法の相違するごとの団地名。
2. 「集水渠出口以下の排水方法」欄は自然排水、機械排水の別。

(2) 心土破碎 該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)		事業名	計	土壌統(区)名	土壌硬度	備 考
合 計							

3. 客 土 該当なし

(第 16 表 - 4)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m3)	土壌の性質		備 考
	事 業 名				現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地	採土地 (客土材料)	
			計									
合 計												

- 注) 1. 「区分」欄は10a当り客土量の相違する地域の区分。
 2. 「土壌の性質」欄は地区に応じた「粒径組成」、「塩基置換容量」、「土層の厚さ」(受益地)、「リン酸吸収係数」、「PH」、「置換性石灰」等の分析結果。
 3. 「備考」欄は受益地の土壌統(区)との関係。

4. 農地保全 該当なし

(1) 防 災 林 該当なし

(第 16 表 - 5 - 1)

事業名	区分	項目	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
合 計						

- 注) 「区分」欄は防風林、防災帯、土砂防止林、水源カン養林等の区分。

(2) 排水工 該当なし

(第16表-5-2)

事業名	項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	
		(1/)					
		(1/)					
		(1/)					
		(1/)					
合計							

- 注) 1. 「名称」欄は承水路、集水路、排水路等の区分。「基準雨量」欄の()は発生確率。
2. 排水系統、支配面積、附帯構造物の位置等を示した「模式図」は別添。

(3) 浸食(崩壊)防止工 該当なし

(第16表-5-3)

事業名	項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
合計					

- 注) 「施設名」欄は主要な施設の名称、「位置」欄は水路名。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

(第17表-2)

名称	項目	位置	型式	流域面積(km ²)		堤高(m)	堤長(m)	堤体積(km ³)	基盤地盤地質	貯水量(km ³)		備考
				直接	間接					総貯水量	有効貯水量	

名称	項目	位置	型式	洪水量(m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量(m ³ /s)	放流施設	型式	放流量(m ³ /s)

注) 洪水調節施設は「第21表-1」、老朽ため池改修施設は第24表。

2. 頭首工 該当なし

(第17表-1)

名称	項目	位置	型式	堤高(m)	堤長(m)			取水位(m)	取水量(m ³ /s)	附帯施設	備考
					固定部	可動部	計				
				()							
				()							
				()							

注) 1. 「堤高」欄は堤体底面から堤頂までの高さ、下段()は堤頂標高。
 2. 「取水位」欄は取水水門直上水位、「取水量」欄は期間最大値。
 3. 「附帯施設」欄は土砂吐、取水水門(取水門のみの場合の「堤長」欄は「構造」。)

3. 揚水機 該当なし

(第17表-3)

名称	項目	位置	揚水量(m ³ /s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
				全揚程	実揚程	型式	口径(mm)	台数(台)	型式	動力(kw)	台数(台)	

注) 「揚水量」・「揚程」欄は計画値、「揚水機の型式」欄は軸流、斜流、渦巻等の種別、「原動機の型式」欄は電動機、内燃機関の別。

第 2 節 排水施設

1. 排水水門 該当なし

(第 18 表 - 1)

名称	項目	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備考

- 注) 1. 「型式」欄はスルース等その機能のよる分類、「構造」欄はゲート規模、数量。
2. 「内水位」欄は地区内の水門に接した計画最高水位、「外水位」欄は水門外側の計画最高水位。

2. 排水機 該当なし

(第 18 表 - 2)

名称	項目	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
				全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	
合計												

- 注) 「排水量」・「揚程」欄は計画値、「排水機の型式」欄は軸流、斜流、渦巻等の種別、「原動機の型式」欄は電動機、内燃機関の別。

第3節 道路及び索道

1. 道路 該当なし

(1) 道路の総括表 該当なし

(第19表-1)

区分	項目 路線名	全幅(有効) (m)	延長 (m)	構造	附帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
					名称	構造	数量 (箇所)				
		()									
		()									
		()									
		()									
		()									
		()									
		()									
合計		()									

注) 1.「区分」欄は地区内、地区外、更に幹線、支線の区分。
2.「構造」欄は路床改良、舗装厚、材料等、「附帯構造物」欄は暗渠等で道路主要構造物以外。

(2) 道路主要構造物 該当なし

(第19表-2)

線名	項目 名称	規模	構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	改修理由	備考

注) 主要構造物は道路の一部で道路としての機能をもつトンネル、橋等。(橋はスパン5m以上。)

2. 索道 該当なし 該当なし

(第19表-3)

名称	項目 延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力 (PS)	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成 該当なし

(1) 抜根 該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計						

注) 「区分」欄は地区を樹種、樹径、ha当たり本数により分類した分類番号、又は名称。「工法」欄は使用機械名。

(2) 除礫 該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

注) 「区分」欄は地区を土層の厚さ、礫の含有によって分類した区域の分類番号、又は名称。「工法」欄は使用機械名、人力除礫等。

(3) 開墾作業 該当なし

(第20表-3)

区分	項目		面積 (ha)	工法	備考
	地目	造成工法			
	計				

注) 「面積」欄は畦畔を含む造成面積。「工法」欄は使用機械名、「備考」欄は床締め、畦畔造り(階段工)、心土破碎、小排水路等(斜面保護工は侵食防止施設)。

(4) 地目変換 該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	計			

(5) 末端用水路等 該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6) 末端排水路等 該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 土壌改良 該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

注) 「区分」欄は石灰についてのha当り所要量のとの区分。

第 5 節 洪水調節施設

1. 貯水池 該当なし

(第 21 表 - 1)

名 称	位 置	堤 体	型 式	流域面積 (km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千 m ³)	基 盤 地 盤 地 質	貯水量 (千 m ³)		備 考
				直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
名 称	位 置	洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /s)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	放 流 施 設	型 式	放 流 量 (m ³ /s)	

注) 老朽ため池改修施設は「第24表」。

2. 頭首工及び導水路 該当なし

(1) 頭首工 該当なし

(第 21 表 - 2)

名 称	位 置		堤 長 (m)			計 画 洪 水 位 (m)	附 帯 施 設	備 考
	集水面積 (Km ²)	堤 長 (m)	固 定 堰	可 動 堰	計			

注) 用水施設(かんがい用)は「第17表-1」。

(2) 導水路 該当なし

(第 21 表 - 3)

水路名	項 目	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
			トンネル	その他	計			

注) 用水施設(かんがい用)は「第17表-4」。

第 6 節 干 拓 施 設 該 当 な し

1. 堤 坊 該 当 な し

(第 2 2 表 - 1)

項目 名称	型 式	延 長 (m)	構 造				原 地 盤 標 高 (m)		備 考
			堤 頂 標 高 (m)	盛 土 幅 (m)	盛 土 標 高 及 び 塗 装	上 流 斜 面	下 流 斜 面	平 均	

2. 潮 止 め 該 当 な し

(第 2 2 表 - 2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷 高 標 高 (m)	潮 止 め 堤 標 高 (m)	最 大 流 速 (m/s)	床 固 め 構 造	備 考

3. 付 属 施 設 該 当 な し

4. 埋 立 該 当 な し

(第 2 2 表 - 3)

項目 区分	面 積 (m ²)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理 該当なし

(1) 区画整理 該当なし

(第 23 表 - 1)

工 区 名	面積(ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土量(m3)	面積(ha)	土量(m3)	
合 計						

注) 「整地工の土量」欄は表土扱い土量も含む。

(2) 末端水路等 該当なし

(第 23 表 - 2)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
合 計					

(3) 末端排水路等 該当なし

(第 23 表 - 3)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
合 計					

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水 該当なし

(第23表-4-1)

区分	項目	面積 (ha)			集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
		事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	開隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
				計														
	合計																	

注) 「区分」欄は種類、方法の相違するごとの団地名。

(2) 心土破砕 該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3)	面積 (ha)	工法	備考
	合計					

3. 客土 該当なし

(第23表-5)

区分	項目	面積 (ha)			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
		事業名							
				計					
	合計								

注) 「区分」欄は10a当り客土量の相違する地域の区分。

4. 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3)	面積 (ha)	工法	備考
	合計					

5. 農地保全 該当なし

(1) 防災林 該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
	合計						

注) 「区分」欄は防風林、防災帯、土砂防止林、水源かん養林等の区分。

(2) 排水路 該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
	合計				

注) 「区分」欄は承水路等の路線名。

(3) 浸食防止工 該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考
	合計			

注) 「名称」欄は主要な施設の名称。「構造」欄は各施設の規模を表わす数値。

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

(第 2 4)

名 称	位 置	堤体	型 式	流 域 (km ³)	堤 高 (m)	延 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考	
											前 後
名 称	位 置	洪水吐	型 式	排 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考	

注) 「堤高」、「延長」欄の下段は改修後、上段は盛土工事による改修量。「備考」欄は斜面勾配が変わる場合の前後。

2. 堤体補強施設 該当なし

(1) のり面保護施設 該当なし

名 称	位 置	種 類	工 法	数 量	備 考

(2) 漏水防止工 該当なし

名 称	位 置	種 類	工 法	材 料 組 成	数 量	備 考

注) 「材料組成」欄はコア、グラウト、その他の工法の別。

第 6 章 附 帯 工 事 計 画 (補償工事) ----- 注)項目ごとの型式規模、構造の諸元。

該当なし

第 7 章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

着 手 令和 8 年度

完了予定 令和 11 年度

第 8 章 環境との調和への配慮

田園環境マスタープランに基づき環境配慮調書にて施工時の対策を検討する。

菱川排水路の排水路工整備にあたっては、環境配慮区域になっているため、地域の合意の元に水性生物の生息空間を含めた水路の整備を現在の生態系が維持できるよう生息・生育環境の確保に努める。

第 9 章 換地計画の概要 該当なし

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 該当なし

該当なし

第 2 節 換地区の設定 該当なし

1. 換地区の名称、所在、面積 該当なし

(第 25 表 - 1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考

注) 「換地区の所在」欄は当該換地区の市町村、大字(字、町)。「面積」欄は小数点以下2位を四捨五入。

2. 換地区を設定する理由 該当なし

該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針 該当なし

1. 従前の土地の地積の基準 該当なし

(第 25 表 - 2)

換地区名	地積の基準

注) 「地積の基準」欄は「事業主体、市町村等が行う実測による地積」、「土地改良事業に係る計画概要の公告の日の登記簿地積」、「土地改良事業計画決定(認可)の日の登記簿地積」、「国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地にあっては土地改良事業計画の認可の日の登記簿地積」の別。

3. 農用地集団化の方針 該当なし

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法			備考
		位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い	

- 注) 1. 「地帯別、グループ別団地の設定」欄は計画がある場合の方法で「集落別集団化」、「地目別・作物別集団化」、「営農グループ別集団化」の別。
2. 「位置の選択方法」欄は「各人の従前の土地の密集した位置に換地」等、「1戸当り目標団地数」欄は「おおむね何団地を目標」、「区画畦畔の取扱い」欄は「固定畦畔」「移動畦畔」等の別。

4. 非農用地換地の方法 該当なし

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他	備考
合計							

- 注) 1. 「用途」欄は道路、水路、農産物集出荷施設、農機具保管修理施設、集会施設、農村公園、宅地、工場用地等の別。
2. 「非農用地区域の位置の概略」欄は創設、異種目換地の場合市町村及び大字(字、町)である。
3. 「換地の手法」欄は特定用途用地換地、異種目換地、共同減歩による創設換地、不換地等見合いの創設換地の別。

第4節 土地の評価及び清算の方法 該当なし

1. 評価の方法 該当なし

該当なし

注) 評価の方法は「標準地比準方式」、「項目別配点方式」、「条件差差積方式」等の別。

2. 清算の方法 該当なし

該当なし

注) 清算の方法は「増加額比例地積清算方式」、「増加額比例価額清算方式」、「条件差差積清算方式」等の別。

第5節 換地計画樹立の年度計画 該当なし

(第 2 5 表 - 6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当なし

第7節 換地事務処理体制 該当なし

選 定 事 務		処 分 事 務		換 地 設 計
直 営 ・ 委 託 の 区 分	担 当 者 (委 託 先)	直 営 ・ 委 託 の 区 分	担 当 者 (委 託 先)	着 手 時 期

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 6 表)

区分 \ 事業名		基幹水利施設ストックマネジメント事業	備 考
主 要 工 事		440,000	
附 帯 工 事			
地 方 事 務 費		22,000	
計		462,000	
関 連 事 業 参 考	国・公団営	-	
	県 営	-	
	団 体 営	-	
	そ の 他	-	
	計	-	

注) 関連事業は効用に関連するもの。又、共同事業がある場合の費用振分けの内訳は別紙添付。

第 11 章 効 用

(第 2 7 表)

事 業 名	項目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
	区分			
基幹水利施設ストックマネジメント事業	作物生産効果	69,756	69,485	令和5年度単価 (令和7年度新規用単価) 総費用(現在価値化): 855,128 千円 総便益額(現在価値化): 1,535,328 千円
	営農経費節減効果	△ 2,257		
	維持管理費節減効果	△ 844		
	国産農産物安定供給効果	7,444		
	計	74,099	69,485	

(備考)

総費用総便益比: 1.79

第 12 章 関 連 す る 事 業 該 当 な し

(第 2 8 表)

区 分	事 業 名	事業主体	受益面積 (ha)	事 業 内 容

第 13 章 現 況 ・ 計 画 図 面

1. 計画一般図

(別 添)

2. 基本事業概要図

(別 添)

3. 主要対策工事図面

(別 添)

- 注) 1. 位置図は1/50,000程度地形図。
 2. 現況平面図及び計画平面図は1/1,000～1/5,000程度。ただし換地を行う事業は1/1,000程度。
 3. 主要構造図はA3程度。
 4. 図面の凡例は「用水補給地」薄赤色、「畑かん地域」黄色、「田畑輪換地域」オレンジ色、「用水路」朱色、「排水路」紺色、「排水受益地域」青色、「集水面積」薄青色、「洪水防止地域」薄紫色。

令和7年度新規採択希望

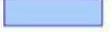
水利施設等保全高度化事業 水利施設整備事業（簡易整備型）

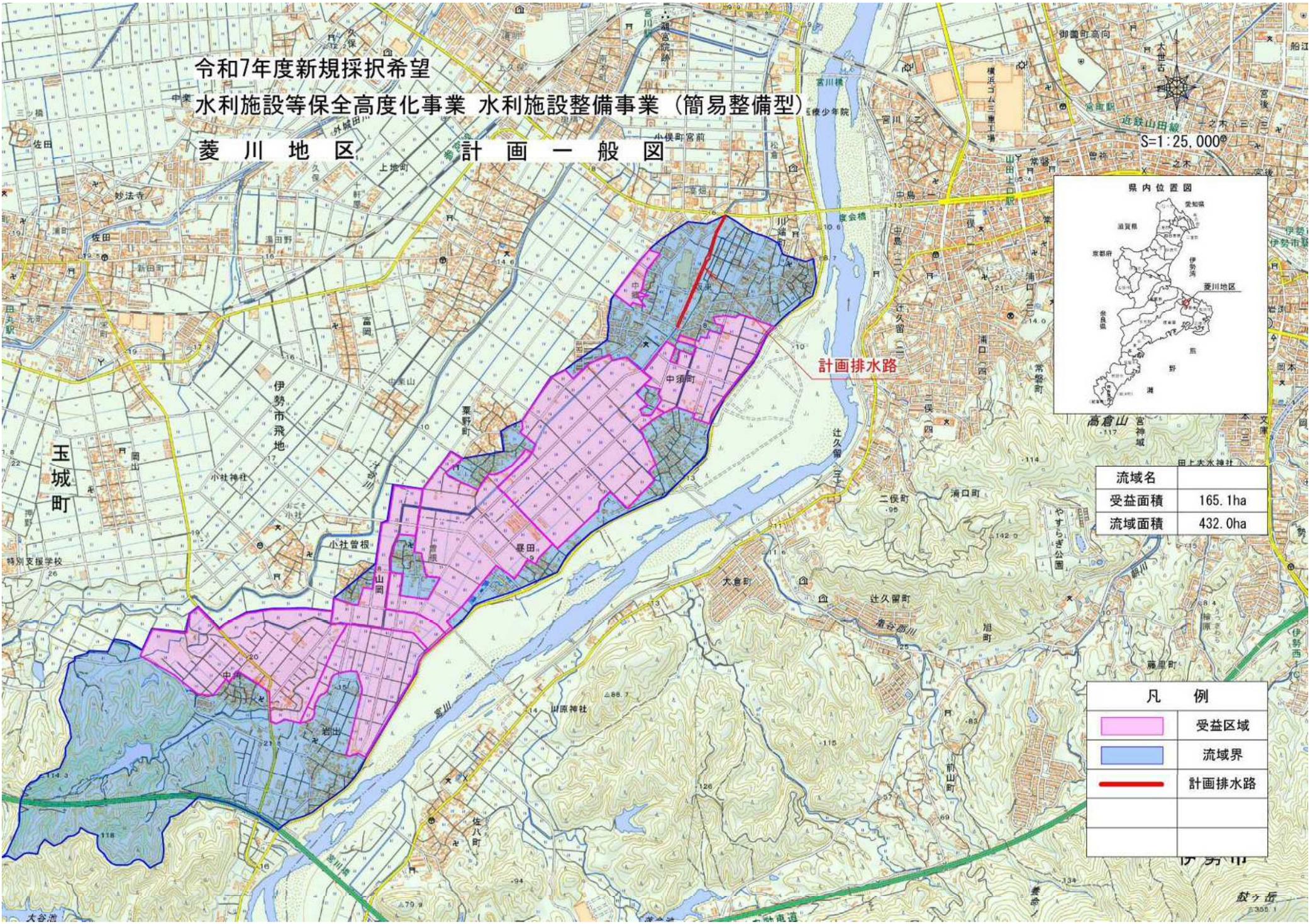
菱川地区 計画一般図

S=1:25,000



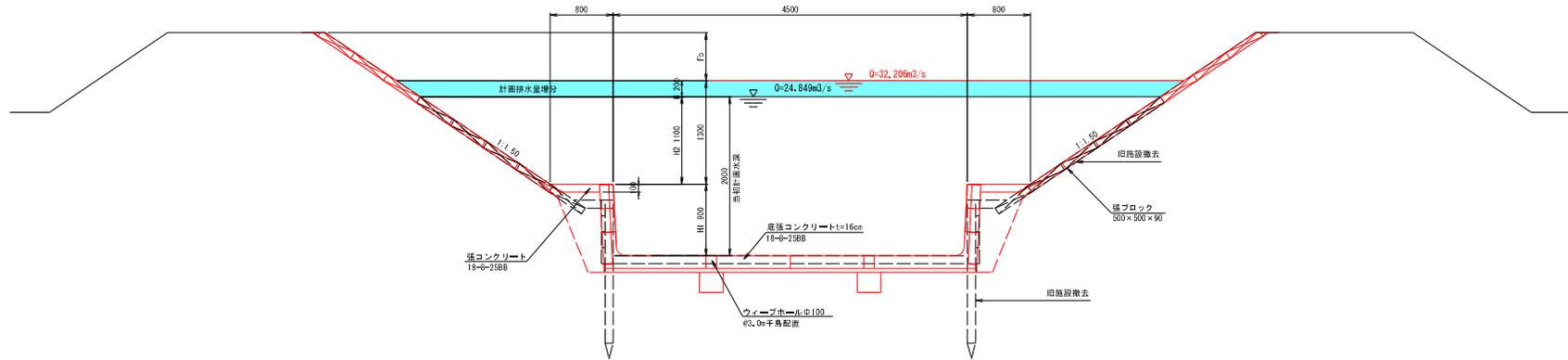
流域名	
受益面積	165.1ha
流域面積	432.0ha

凡 例	
	受益区域
	流域界
	計画排水路

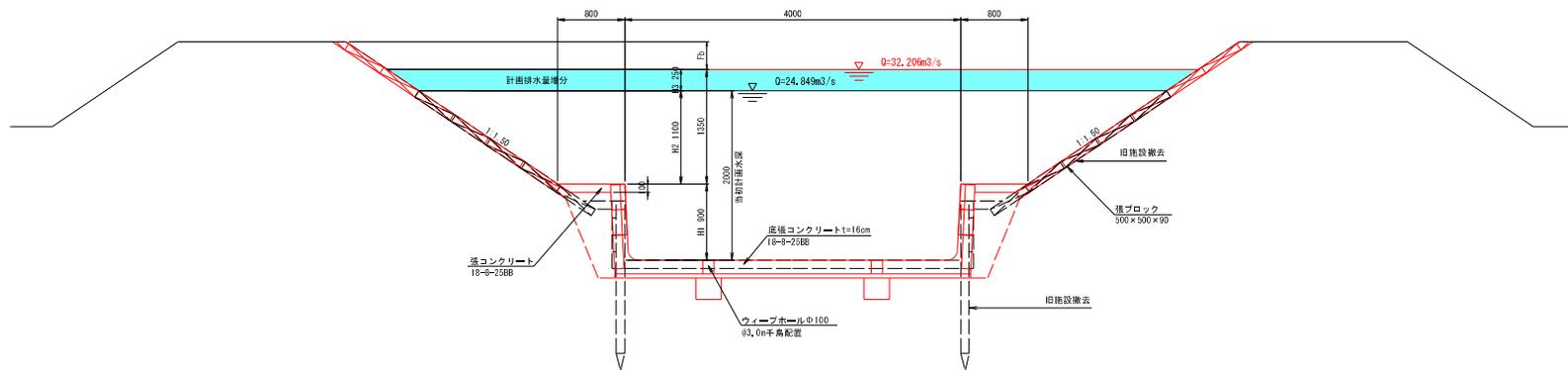


更新工法

プレハブ水路B型更新
 S=1:30
 H900 × B4500 L=260.0m
 I=1/964



プレハブ水路B型更新
 S=1:30
 H900 × B4000 L=391.0m
 I=1/832



工事名	令和6年度 農地整 第1号 豊川製備改良計画農修正業務委託
図面名	主要対策工事図
年月日	令和6年 11月29日
縮尺	1:30 (A1版) 図面番号 /
会社名	株式会社 若 幹
事務所名	伊勢市役所産業観光部

第 14 章 土地改良施設の管理者及び管理方法

1 予定管理者

伊勢市

2 管理すべき施設の種類

菱川排水路工 L=651m

3 貯水、放流、取水又は排水に関する基本的事項

伊勢市が施設の定期的な点検及び補修を行う。

4 管理に要する費用の概要及びその負担方法

費用の概算

草刈り 年2回

5 その他管理方法に関する基本的事項

伊勢市全負担

第 15 章 事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

(1) 負担区分の予定割合

	事業費	負 担 区 分			
		国 55 %	県 29 %	市町村 16 %	地元 0 %
工事費	440,000	242,000	127,600	70,400	-
事務費	22,000	-	22,000	-	-
合計	462,000	242,000	149,600	70,400	-

(2) 地元負担の予定基準

例1

地元負担金〇〇〇千円のうち、〇〇〇千円を土地改良法第91条第6項の規定に基づき〇〇町が負担し、残り〇〇〇千円は、法第91条第2項の規定に基づき、〇〇町県営事業土地改良事業分担金徴収条例により〇〇町が法第3条に規定する資格を有する者から地積割りを基準として徴収し、県へ納入する。

例2

地元負担金〇〇〇千円のうち、〇〇〇千円を土地改良法第91条第6項の規定に基づき〇〇町が負担し、残り〇〇〇千円は、法第91条第4項において準用する法第90条第4項の規定に基づき、〇〇土地改良区が法第3条に規定する有する者から地積割りを基準として徴収し、県へ納入する。

(3) 特別徴収金

本事業の施行に係る地域内の土地につき土地改良法第3条に規定する資格を有する者は、当該事業の工事の完了につき法第113条の2第3項の規定による公告があった日から起算して、8年を経過しない間に、当該土地をこの事業の計画において予定した用途以外の用途(以下「目的外用途」という。)に供するため所有権の移転等をした場合又は当該土地を自ら目的外用途に供した場合(当該土地を目的外用途に供するため所有権の移転を受けて、目的外用途に供した場合を除く。)には、法第91条の2の規定により特別徴収金を徴収されることがある。